



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

4月の低温により、一部園地で新梢の枯れが散見されます。被害がある園地は、樹全体で着果量を確保するように作業を進めて下さい。病虫害の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

第3回 定期散布

◎6月上旬の薬剤散布

散布薬剤	水	100ℓあたり	散布日 6月 日 散布量 ℓ	
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml		
	キノドー顆粒水和剤	100g		14日前、5回以内
	サイアノックス水和剤	100g		45日前、3回以内
対象病虫害	落葉病、炭疽病、うどんこ病 フジコナカイガラムシ、カキノヘタムシガ、カメムシ類			
散布量	10a当り 500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。			
注意事項	① サイアノックス水和剤に替えてスミチオン水和剤40の800倍（30日、3回）でも良い。 ② スミチオン水和剤40の使用回数はガットサイドSと合わせて3回までです。カキノキマダラメイガ・ヒメコスカシバ対策で散布した場合はご注意下さい。 ③ 他品目に飛散しないように注意して下さい。 ④ 弱樹勢樹（葉が小さい・色が薄い等）が見られる場合は担当技術員までご相談下さい。			

第4回 定期散布

◎6月中旬の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓあたり	散布日 6月 日 散布量 ℓ	
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml		
	劇 モスピラン顆粒水溶剤	25g		前日、3回以内
	オーソサイド水和剤80	100g		7日前、5回以内
対象病虫害	落葉病、炭疽病、すす点病 アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、カメムシ類			
散布量	10a当り 500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。			
注意事項	① <u>前年、落葉病が多発した園地は、今回の防除を必ず実施して下さい。</u>			

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次面もご覧下さい（講習会通知）

◎栽培管理講習会開催について（通知）

毎日のお仕事お疲れ様です。さて標記の件につきまして下記により講習会を開催いたしますので皆様の参加をお願いします。

記

1、開催日時・集合場所

6月8日（木） 午前10時00分 北部センター（高社共撰所）駐車場

2、内容

- ・ 凍霜害被害状況について
- ・ 摘果について
- ・ 新梢管理について
- ・ 病害虫防除について
- ・ その他

3、その他

* 敷ワラ・かん水等土壌水分保持に努めてください。

* ご不明な点は担当技術員までお問合せください。

（担当：園芸課 丸山由香 TEL090-1867-2512）

以上